

# 生活と社会を支える物流の現場

## 新型コロナ影響で厳しさが一層

早朝から深夜まで、生活と社会の動脈であり神経となる物流の仕事。もともと人手不足・長時間労働を強いられ、コロナ禍において一層厳しさが増えています。非正規で低賃金の仲間も多く、矛盾が集中している現場実態があります。

### 解雇増えるトラック 中小運輸は経営悪化

【建交労東京トラック部 「ドライバー不足」が深刻 会事務局長・中島均さん】 化し、長時間労働の要因となり、脳・心臓疾患など健康障害が増加傾向にあり、国民生活に不可欠な存在とす。私たちは長時間労働の改善をめざし、交通運輸産業での共通ルールである「改善基準告示の法制化」を求め、2018年6月に成立した「働き方改革関連法」の付帯決議の中で「改



トラックパレードに出発

善基準告示の見直し」が明記され、現在、議論が行われています。

また、同年12月には「改正貨物自動車運送事業法」が成立し、ドライバーの労働環境改善をめざした取り組みがすすめられようとしています。

このような状況の中で発

### 日本郵政

いのちの重さに格差なし 病気休業 非正規は無給



郵便配達する仲間

生じた「新型コロナウイルス感染症」は、産業活動と労働環境を一変させ、輸送品目によってばらつきはあるものの、全体的に物量は減少し、一部職場では解雇や雇止めがおきています。一部、テレビや新聞で通信販売が拡大していると報

### 生協で働く青年がアンケート 悩みと不安に 応える組合づくり

【生協労働連・芝原宏さん】生協都連の青年部会では6月に、今年生協で働き始めたなかまに「新人アンケート」を実施しました。宅配で働くなかまからは「マスクの着用」研修が十分できず、今後の独り立ちが不安「営業のやり方がわからない」など、忙しい回答が半数近くになるな

## 都知事選を闘い終えて

都政監視は続ける 宇都宮 健児 (寄稿)



宇都宮健児さん

先の都知事選に闘い、東

心よりの感謝申し上げます。

結果は、残念ながら次点となりましたが、全都で市民運動・労働運動と野党の共闘・共同行動が広がったことは、来年行われる都議選や今後の国政選挙などに繋がると思っています。



・自死の予防について」と題して記念講演をいたしました。東京地評から、井澤智事務局長、柴田和啓副議長、齋藤康雄常任幹事が同センター理事に選出されました。

東京都・労働相談の状況 東京都産業労働局は、昨年度の「労働相談及びあっせん」の状況についてを公表しました。都内6カ所の労働相談情報センターの集計では、労働相談件数が5万2884件と、14年連続で5万件を超えました。相談内容では「退職(10.6%)」が最も多くなりました。

7月17日、東京都庁前歩道にて臨時都議会開会日行動を開催し、定員一杯の50人が参加しました。荻原淳東京地評議長による開会あいさつがあり、都知事選をともに闘った宇都宮けんじ氏があいさつしました。都議会会派からは、西沢けいた都議会議長(立憲民主党・民主クラブ)、里吉ゆみ都議会議長(共産党都議団)が連帯あいさつしました。主催は、東京地評、都民連、東京社保協、いの健東京センター総会、働くものいのちと健康を守る東京センターは7月18日、ラパスホールで第17回総会を開催しました。第1部で議案の提案・討論が行われたあと、第2部で同センター理事長の天笠医師が「新型コロナ禍の下での精神疾患

19年ぶりに一掃されたことになり。7月22日に東京都教科書採択問題連絡会は都教委に要請を行いました。今後、都内各地区での採択が行われる予定です。傍聴などの取り組みを強めましょう。

東京労働共済会が第24回総会を開催しました。白滝理事長(東京地評副議長)の開会あいさつと、全労連共済・佐久間事務局長代行、桜井久事務局長、中村社長が来賓あいさつ。井澤専務理事(東京地評事務局長)から議案が提案され、拍手で採択されました。

【加盟組合の定期大会】 全印総連東京地連第17回大会 7月18日、全印健保会館で開催。委員長に砂川兼作さん、書記長に嶋岡聡さん。